

後援：川崎市／川崎市教育委員会／川崎市社会福祉協議会
神奈川新聞社／朝日新聞横浜総局 読売新聞／毎日新聞／東京新聞《各川崎支局》
東京都合唱連盟／川崎市合唱連盟／川崎市多摩区合唱連盟
JCDA 日本合唱指揮者協会 音楽のまち・かわさき推進協議会
助成：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

Voice Space "NOVO"
登戸混声合唱団
the 53th concert

チャリティ No.31
ひとひらのあい
コンサート



2018年12月23日(日・祝) 13:30 開演
川崎市多摩市民館 大ホール



第31回チャリティ “ひとひらのあい” コンサートに寄せて

登戸混声合唱団は1980年にこの地で産声を上げました。結団時のメンバーは12名(内男性2名)でしたが、3年後には激減して4名になり存続の危機に追い込まれたのです。しかし、コツコツ←細々と活動を続け、7年目には17名で初めての“クリスマス・チャリティコンサート”を開く事が出来たのでした。

あの第1回から31年めを迎え、カーネギーホールをはじめ海外での演奏を含め53回の公演を開催して来ましたが、これはひとえにメンバーの皆さん、そして何よりこの団を応援し、毎年このコンサートに足をお運び下さり支えて下さっている皆様あつての賜物です。ここに改めまして心より感謝申し上げます。

今回のコンサートでは、14年前の鈴木憲夫先生委嘱「地球ばんざい」に続き、2度目の組曲委嘱を、今、日本で勿も忙しい人気作曲家の一人、鈴木輝昭先生にお願いしました、「三つのソネット～混声合唱とピアノのための～」です。

そして今年もまた一般参加の方々と共にお贈りするXマス曲のステージもお楽しみ下さい。

明日は“Xマス・イブ”、いよいよ寒い日々が続きますが、どうぞ皆様の心に、小さな暖かい幸せの明りが灯りますように。

登戸混声合唱団 常任指揮者 片野秀俊

委嘱作品は“うたいびと”の『たから』

立原道造の詩で、鈴木輝昭氏に委嘱作品をお願いし、今年、コンサートでの全曲初演をむかえました。《三つのソネット》～混声合唱とピアノのための～。タイトルのソネットとは、詩人・立原道造が確立した十四行詩のことです。流麗・かつ繊細なピアノが、鈴木氏の緻密な旋律にのって、立原道造のはかない言葉たちを彩っています。この曲想を自分たちのものとしてとらえるまでは、なかなか、ながく、きびしい道のりでした。

登戸混声合唱団としては、委嘱曲は鈴木憲夫作曲、まどみちお詩「地球ばんざい」について2作目。大切にしていきたいと思っています。

今年のチャリティコンサートは、公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団の合唱部門の一団にも選出され、助成授与の榮譽に浴しました。今まで、ご後援やご協賛いただいている多くの団体様にも深く感謝し、そして何よりも、会場のお客さまに、心よりの御礼を申し上げます。

2018年12月23日 登戸混声合唱団 団長 渡部信子・団員一同

混声合唱とピアノのための《三つのソネット》は、登戸混声合唱団の委嘱により作曲した組曲作品で、立原道造 詩の三篇のソネットをテキストとしている。

指揮者片野秀俊氏からの合唱作品作曲の依頼にお応えして2013年、第1曲目の「薄明」を書いた。その後数年を経て、2016年に第2曲「わかれる昼に」と第3曲「民謡—エリザのために」を書いて組曲完成とした。

立原道造のソネットは、言葉そのものが歌である。古代ギリシャの叙情詩人がそうであったように、詩人は言葉を奏でる音楽家であり、湧き出た言葉は既に音楽として完結していた。意味よりも韻を、情景よりも心象を綴るその表現の在り方は、立原道造の詩作の姿勢にも色濃く反映されている。謂わば、詩の外に音楽を必要としない難しさが立原道造の詩には宿っている。

言葉に寄り添うことなく、しかしその世界を遠ざけることなく、音楽は自在な曲線を描くことに意を注いだ。自然と必然が共存する、抒情的な劇性の構築を模索した。三つの楽章は緩・急・緩の構成による様式上の自立を核とし、それぞれの楽曲が異なる音楽的性格を提示する。ピアノによって断続的に奏される主要動機の断片は、曲想の輪郭と方向性を積極的に定着するものである。

本作品初演に向けてご尽力頂いた指揮者片野秀俊氏と登戸混声合唱団の皆様へ感謝と敬意を捧げる次第である。

2018年12月23日 鈴木輝昭

プログラム

指揮とお話 片野秀俊 ピアノ 井熊康子

I. アカペラの響き

Hodie

グレゴリオ聖歌

Ave Maria

グレゴリオ聖歌

Super flumina Babylonis

パレストリーナ

Sicut cervus desiderat

パレストリーナ

II. 登戸混声合唱団 委嘱作品

《三つのソネット》 ~混声合唱とピアノのための~

I. 薄明 II. わかれる昼に III. 民謡—エリザのために

詩：立原道造 作曲：鈴木輝昭

I 薄明

音楽がよく聞こえる
だれも聞いてゐないのに
ちひさなフーガが 花のあひだを
草の葉のあひだを 染めてながれる
窓をひらいて 窓にもたればいい
土の上に影があるのを 眺めればいい
ああ 何もかも美しい！ 私の身体
の外に 私を囲んで 暖く香よくにほふひと
私は ささやく おまへにまた一度
—— はかなさよ ああこのひとときとともにとどまれ
うつろふものよ 美しさとともに滅びゆけ！
やまない音楽のなかなのに
小鳥も果実も高い空で眠りに就き
影は長く 消えてしまふ——そして 別れる

II わかれる昼に

ゆさぶれ 青い梢を
もぎとれ 青い木の実を
ひとよ 昼はとほく澄みわたるので
私のかへつて行く故里がどこかにとほくあるやうだ
何もみな うつとりと今は親切にしてくれる
追憶よりも淡くすこしもちがはない静かさで
単調な 浮雲と風のもつれあひも
きのふの私のうたつてゐたままに
弱い心を 投げ上げる
噛みすてた青くさい核を放るやうに
ゆさぶれ ゆさぶれ
ひとよ
いろいろなものやさしく見るので
唇を噛んで 私に憤ることが出来ないやうだ

III 民謡—エリザのために

絃は張られてゐるが もう
誰もそれから調べを引き出さない
指を触れると 老いたかなしみが
しづかに帰つて来た……小さな歌の器
或る日 甘い歌がやどつたその思ひ出に
人はときをりこれを手にとりあげる
弓が誘ふかろい響——それは奏でた
おおながいとほいながれるとき
——昔むかし野ばらが咲いてゐた
野鳩が啼いてゐた……あの頃……
さうしてその歌が人の心にやすむと
時あつてやさしい調べが眼をさます
指を組みあはす 古びた唄のなかに
——水車よ 小川よ おまへは美しかった

I・III 詩集 『履しき歌 I』
II 詩集 『葎草に寄す』

詩人 立原道造 (たち原ら みちぞう)

大正3年7月30日、昭和14年3月29日
昭和初期に活動し24歳で急逝

Ⅲ. ゲスト演奏 アイリッシュハープ&フルート 菅沼安佐代 池田さく子

信じてほしい、若さにあふれた愛らしい魅力が	アイルランド民謡
ロンドンデリー・エア	アイルランド民謡
夏の名残のバラ	アイルランド民謡
クリスマス讃美歌メドレー	
サリー・ガーデンズ	アイルランド民謡

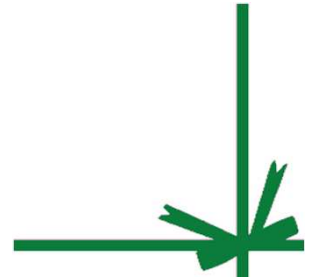
❧ 休 憩 ❧

♪ みんなで歌いましょう

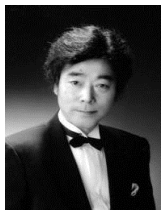
冬の夜	文部省唱歌
川崎市民の歌	
好きですかわさき愛の街	作詞：肥後義子 補作：石本美由起 作曲：山本直純

Ⅳ. たのしいクリスマスソング (一般参加の方々と一緒に歌います)

O Holy Night ～さやかに星はきらめき～	訳詞：海野洋司 作曲：A.アダン 編曲：信長貴富
アヴェ・マリア	作曲：バッハ/グノー 編曲：増田順平
あわてんぼうのサンタクロース	作詞：吉岡治 作曲：小林亜星 編曲：松永ちづる
ホワイトクリスマス	作詞・作曲：アーヴィング・バーリン 編曲：増田順平
メサイアより Hallelujah	作曲：G.F.Händel
聖 夜	訳詞：由木 康 作曲：F.Gruber



片野秀俊 (かたの ひでとし)



福島県いわき市出身。東京声専音楽学校(現昭和音楽大学)卒業。プロ合唱団・日本合唱協会にて1970年から1984年までBass歌手、ソリスト、コンサートマスター。長年にわたり、音楽監督山田一雄氏の薫陶を受け、1985年第68回定期演奏会にて指揮者デビューし日唱正指揮者に就任。同団を伴って全国各地で演奏活動を行う。海外ではNYカーネギーホールをはじめ14カ国、20都市で演奏し高評を得る。NHKラジオ「みんなのコーラス」レギュラー解説者、NHKTV「名曲アルバム」他多数出演。「教育音楽」等、音楽雑誌への執筆をする一方、アマチュア合唱団の育成にも力を注いでいる。また、日本ニューフィルハーモニー管弦楽団、TokyoFortuna管弦楽団等、オーケストラの指揮も多い。NHK全国音楽コンクール、全日本合唱コンクール審査員。日本演奏連盟会員。全日本合唱連盟常務理事。東京都合唱連盟顧問。多摩区合唱連盟理事長。指揮法を山田一雄、ヘルムート・リリング、山本直純、荒谷俊治、飯守泰次郎、若杉弘、演奏法を平井康三郎、清水脩、声楽を下八川圭祐、芳野晴夫他の各氏に師事。

女声合唱曲集「四季を綴る」監修、「ふるさとは今も変わらず」(作詩・作曲 新沼謙治)-混声・女声合唱版を編曲出版、女声合唱曲集「郷愁によせて」監修。「見上げてごらん夜の星を」編曲出版。

井熊康子 (いくま やすこ)



桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。岡林千枝子、平尾はるな、井上二葉の各氏に師事。伴奏に関してはダルトン・ボードウィン、ワルター・モア、ジョルジュ・プリュデルマッシュェールの各氏に教えを受け、多くの名演奏家のもとで研鑽を積む。京都フランス音楽アカデミー、イーストマン音楽学校夏期セミナーなどに参加。現在は主に声楽、合唱の伴奏者として演奏活動、レコーディングなどを行っている。1987年、1990年とピアノのデュオによるリサイタルを開催。日本演奏連盟、フランス歌曲研究会会員。登戸混声合唱団の、米・仏・伊・独・墺・西・葡・希等での海外演奏で伴奏をつとめた。

ゲスト 菅沼安佐代 (すがぬま あさよ)



国立音楽大学声楽科卒業。ルネサンスから現代までのイギリス声楽曲の研究・紹介を行っている。アイリッシュハープを坂上真清氏に師事。ケルト音楽をはじめ日本の唱歌や童謡、世界の名曲までレパートリーは幅広い。声楽や器楽の伴奏者として活動。アンティークフルートとアイリッシュハープのユニット「Indeed! ホンダーネ」、アイリッシュハープデュオ「クロシェ」、また、室内合唱団「日唱」のアルトメンバーとして定期演奏会や学校の音楽鑑賞教室等に参加。東京を中心に各地で演奏を行っている。

ゲスト 池田さく子 (いけだ さくこ)



早大文学部美術史卒業。桐朋学園短大卒業及び専攻科修了。パリに短期留学を重ねC.レイノー女史のもとで研鑽を積む。自身が主宰する室内楽「Petit concert à ômigakudo」をはじめ、オーケストラ、合唱との共演(日本合唱協会)、朗読とのコラボレーション、室内オーケストラによる学校公演、ライブほか、ジャンルを超え様々なシーンで活動している。銀管バーム式フルートのみならず、19世紀木管フルート(5-keys)も演奏する。sakukoのペンネームで編曲を行っておりミュージックエイト社よりフルート三重奏作品が多数出版されている。

Web:happytalk2525.jimdo.com



♪ 出 演 ♪

登戸混声合唱団 (50音順)

◆ソプラノ	大平雅子 花島佳子 渡部信子	加藤由貴子 濱野とも子	白石和子 平原みち子	(須山久美子) 丸山知子	長沼菫江 森 慈恵
◆アルト	安藤順子 (根村道子)	柴田牧子 松本寛子	滝澤純子 吉田ヒサ子	内藤しな子 吉田玲子	中村純子 和田晴子
◆テノール	小口武人 山田多美枝	小島 修	釜我利彦	菅野 宏	西田 誠
◆バス	今村勝行 細野文夫	追川 誠 松本英嗣	小野博茂 諸石光太郎	日野杉勉	古谷修一



♪ クリスマスソング一般参加者 ♪ (50音順)

浅井登代子	東 真由美	乾 宏子	尾形京子	柏崎万里子	片山三枝子
勝裕智賀子	北嶋富美子	清水政子	杉田節子	鈴木和美	滝澤有祈
橘 浩美	田村範子	塚本明子	鶴賀匡世	寺岡春美	中山奏子
中山寿美子	錦織洋子	二宮従子	野村博子	橋本圭子	長谷部良枝
蜂谷みどり	原田英子	藤井千鶴子	松岡 梢	室内真紀	室本智子
山崎美穂	吉澤洋子				
今吉密夫	小野 剛	友永 朗	鍋田茂朗	山口孝司	



◆ステージマネージャー 佐藤尚之

このコンサートには、心身に障害を持った方々をご招待しております。どうぞご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

昨年の募金は、**182,802円**をいただきました。これまでの募金の累計は、**4,582,049円**となりました。皆様からいただいた拠金は毎年この欄でご報告させていただいております。本当にありがとうございます。

Voice Space “NOVO”

登戸混声合唱団

団員募集中 連絡先：080-5097-2362 渡部
<http://www.noborito-konsei.com/>



商品提供

花王株式会社